

第1学年 *組		国語科学習指導案				
平成*年*月*日 (*)	第*校時	1年1組教室	指導者	辻 尚宏		
育成する国語の能力	文章に描かれた人物、心情などを表現や作品の特徴に即して読み比べ、読み味わう能力					
単元名	同じ教材に関する様々な文章を読み比べ、古典の奥深さを理解しよう					
単元目標	○本文中で使われる語句や文法から登場人物の心情を想像したり理解したりしようとする。 (関心・意欲・態度) ○文章に描かれた人物、心情などを表現や作品の特徴に即し読み比べ、読み味わうことができる。 (読む能力) ○国語における表現の特色及び言語の役割などを理解することができる。 (知識・理解) ([伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] のイの(ア))					
単元の評価規準	関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解			
	本文中で使われる語句や文法から登場人物の心情を想像したり理解したりしようとしている。	文中に描かれた人物、心情などを表現や作品の特徴に即して読み比べ、読み味わっている。	国語における表現の特色及び言語の役割などを理解している。			
取り上げる言語活動	同じ教材に関する様々な文章を読み比べる言語活動					
教材(教材)	○『伊勢物語』第23段「筒井筒」(『探求国語総合 古典編』 桐原書店) ○『大和物語』第149段(『日本古典文学大系』 岩波書店) ○『古今和歌集』巻第18 雜歌下 994(『新日本古典文学大系』 岩波書店)					
単元(教材)について	(1) 生徒観: 用言の活用や助動詞・助詞について理解し、適切に口語訳することはできる。しかし、文章中の登場人物の心情を考察したり、現代との比較の中から共通点や相違点を考えたりすることに苦手意識をもっている。授業アンケートや個別指導を通して、「古典の世界は想像できない」と相談に来る生徒も多い。国語総合の目標の中に掲げられている「想像力」が不足しているためである。同じ教材に関する様々な文章を読み比べる経験は乏しく、多角的に文章を読む習慣もない。 (2) 教材観: 『伊勢物語』一筒井筒一は歌徳説話である。歌によって翻意する男の人物像や心情を読み味わうことができる。また、「風吹けば・・・」の歌を詠んだ女の心情を想像し、『大和物語』『古今和歌集』と比較検討することで、想像力を豊かにすることもできる。 (3) 指導観: 同じ場面に関する様々な文章を読み比べること自体、生徒にとって希有な経験である。なぜなら、「マスメディアの多角性」を知識として有してはいるものの、読み比べることを通して、多角性・多様性を実感として理解する機会が少ないからである。読み比べる活動を取り入れることで、同じ教材に対する様々な視点を獲得し、古典の多様性や奥深さを感じ取ることができる。					
指導計画(学習計画)	主な学習活動 1 『伊勢物語』「筒井筒」を読解し、歌物語としての性質や係り結びの役割について理解する。 2 『伊勢物語』「筒井筒」を読解し、文章中に描かれていない男女の心情について記述を下に想像し、グループで話し合う。 3 『大和物語』『古今和歌集』を読解し、『伊勢物語』とのあらすじにおける相違点をまとめる。 4 男女の心情描写の相違点に注目し、『伊勢物語』『大和物語』『古今和歌集』を読み比べる。		主な評価 • 国語における表現の特色及び言語の役割などを理解している。 (知識・理解) • 文章に描かれた人物や心情を本文の記述を下に想像して読み味わっている。 (読む能力) • 各文章に描かれた人物像やあらすじを、各作品の特徴に即して読み味わおうとしている。 (関心・意欲・態度) • 文章に描かれた人物、心情などを表現や作品の特徴に即し読み比べ、読み味わっている。 (読む能力)			

本時案（第4時）		
本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> ○『伊勢物語』『大和物語』『古今和歌集』それぞれに描かれた心情表現について、表現や作品の特徴に即し読み比べ、読み味わうことができる。 (読む能力) 	
学習活動	指導上の配慮事項など	評価・方法など
同じ教材に関する様々な文章を読み比べ、古典の奥深さを理解しよう		
1 前時の学習内容を再度見直し、本時の学習内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ○前時に学習した内容を見直すように促す。 ○各文章によってあらすじが異なることを再確認する。 	
2 各文章に共通する場面における男女の心情描写の相違点をまとめること。 (1) 男が女の浮気を疑う場面 (2) 女が男の安全を祈願する歌を詠む場面	<ul style="list-style-type: none"> ○歌物語である『伊勢物語』『大和物語』と『古今和歌集』左注とが性質的に異なっていることを確認する。 ○本单元においては、情景描写（言動を含める）も心情描写に含めることを伝える。 ○ワークシート①を通して、『伊勢物語』には心情描写が少なく、『大和物語』には心情描写が比較的多いこと、『古今和歌集』には女的心情描写があること等に気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各文章に描かれた心情表現について、表現や作品の特徴に即し読み比べ、読み味わっている。 (読む能力)
3 各文章の相違点が与える印象をどのように変えるか、自分の考えをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークシート②に取り組むように指示する。 ○机間指導をしながら、困難を感じている生徒に適宜指導をする。 	
4 印象がどのように変化したか発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークシート③を適宜活用するように指示する。 	
5 古典を読解する際に様々な文章を読み比べることの意義について、自分の考えをまとめること。	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークシート④に取り組むように指示する。 ○同じ教材に関する様々な文章を読み比べたことによって得られた知識や考えをもとに記述するように促す。 ○困難を感じている生徒には記述する上での観点を助言し、適宜指導する。 ○同じ教材に対する様々な描写があることが古典の世界観を広げ深めることに気付かせる。 	